

ビジターセンター イベント案内

県立秦野ビジターセンター

●子ども自然教室「春の野山へいっぽ・にほ・散歩！
～あふれる生命に会いに行こう～」

内容：春の野山でみちくさしよう！咲き始めた花、活動を始めた生きもの、たくさんの生命がまっているよ！

開催日：平成22年3月6日(土)9:30～12:30

募集人数：4歳～8歳のお子さまと保護者30名

応募多数の場合は抽選

参加費：1人500円

締切：2月18日(木)必着

●ガイドウォーク（無料・申込不要）

ビジターセンター周辺の自然をスタッフがご案内します。

自然の中で不思議な発見を一緒にしてみませんか？

開催日：毎月第4日曜日 10:30～12:00頃

●スライドトーク（無料・申込不要）

生きものや景色の写真・標本などを用いて、

丹沢の自然を楽しくご紹介します。

開催日：毎週土曜日 13:30～14:00

環境省箱根ビジターセンター

●企画展「箱根に入ってきた生きもの、見かけなくなった生きもの」

内容：外来生物やニホンジカなど、近年の箱根の動物たちの様子を紹介します。

期間：平成22年1月9日(土)～4月11日(日)

※臨時休館：2月3日、17日、24日(水)

1月号の本企画展の企画名に誤りがございました。

本号の名称が正式名称となりますので、お詫びして訂正いたします。

申し訳ございませんでした。

※県立ビジターセンターの「ガイドウォーク」、「スライドトーク」は、行事などの都合により中止または日程変更する場合がございます。また、10名以上で参加の際は事前にお問い合わせ下さい。



県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●自然教室「丹沢の動物探偵団！」

内容：足あと？フン？食べあと？正体は誰だ！
いろいろな痕跡を見つけて、丹沢にすむ動物たちを調べるぞ！！

開催日：平成22年3月7日(日)10:00～15:30頃

募集人数：小学生以上 30名 小学生は保護者同伴

応募多数の場合は抽選

参加費：1人500円

締切：2月16日(火)必着

●ガイドウォーク（無料・申込不要）

宮ヶ瀬周辺の旬の自然を楽しんでみませんか？

ビジターセンタースタッフがおすすめコースをご案内します。

開催日：毎週土曜日、日曜日、祝日 13:30～14:30頃

県立丹沢湖ビジターセンター

●ガイドウォーク（無料・申込不要）

スタッフと一緒に、旬の自然を観察しながら丹沢湖周辺を

散策します。

開催日：毎月第2日曜日 10:00～12:00(ボランティアスタッフ)

毎月第4日曜日 13:30～14:30(センター職員)

●スライドトーク（無料・申込不要）

オリジナルのスライドで、丹沢の自然やマメ知識をご紹介します！

開催日：毎週日曜・祝日 13:00～13:30

県立ビジターセンター自然教室申込方法

往復はがき、またはFAXに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号(FAXでお申し込みの方は返信先FAX番号)を記入して締切日必着でお送り下さい。詳しい参加要項は返信はがきでお知らせします。

*個人情報行事の目的以外には使用しません

2010

2月号

No.72

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

秦野ビジターセンター



尊山荘前に立つニホンジカ(塔ノ岳)

「あ～、シカだ！」登山者のとても嬉しそうな声が聞こえます。みなさんも会いたいですか？「野生のニホンジカ」。

大倉から塔ノ岳へ向かう途中、ほぼ100%の確率でニホンジカに会うことができます。それは野生動物に会いたい登山者には、とても嬉しいことかも知れません。しかし、最近は登山者がいても全く気にせず草を食んで、こちらを見もしないニホンジカが増えています。

塔ノ岳の山頂では、食事をしている登山者に甘えた声で近寄るニホンジカも現れます。食料を与える登山者は多くありませんが、やはりあってはならない光景なのではないでしょうか。人間から食料をもらうことにより、自力で食料を探ることができなくなったり、そのご飯よこせ！と人間に危害を加えるようになってしまったり…。

いろいろな問題が起こり、最後に人間も野生動物も不幸になります。

近くで会えた時、最初は「可愛い！」と思いがすが、最近では距離が近すぎることにとても危機感を覚えます。登山の途中でふっと野生動物が遠くの方で過ぎ去っていく姿を見るのが本当の嬉しい野生動物との出会いではないかと思いがします。野生動物が近くに寄ってきても、ぜひ見て見ぬふりを心掛けて距離を縮めないで欲しいです。

でもやっぱり可愛い…！ (村上)



登山者の目をとるニホンジカ(塔ノ岳)

自然公園へ出かけよう



県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15

Tel046-288-1373 Fax046-288-1162

開館時間 9:00～16:30

<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513

Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311

開館時間 9:00～16:30

<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 藤野町佐野川659-3

Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270

開館時間 9:00～16:30(4/1～11/30)

9:00～16:00(12/1～3/31)

<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515

Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777

開館時間 9:00～16:30

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9

Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940

開館時間 8:30～16:30(4/1～11/30)

8:30～16:00(12/1～3/31)

<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧札場164

Tel0460-85-9981

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：財団法人 神奈川県公園協会公園課 〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階

TEL：045-651-0931 FAX：045-651-0932

自然公園課：sizenkouen@kanagawa-park.or.jp

ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

神奈川県公園協会

検索

後援：丹沢大山自然再生委員会

宮ヶ瀬ビジターセンター

鳥たちは、なにをしているかな？

宮ヶ瀬には一年を通じてとても多くの方が野鳥観察に来られます。樹木が葉を落とす冬は、野鳥を木々の間からじっくり観察するには絶好の季節です。

木の実を食べている鳥をよく見ると、嘴の周りに実のかすをたくさんつけている姿を度々目にします。垂直に伸びる植物の茎をしっかりと掴んでとまり、茎の中の虫を食べている小鳥。枝にぶら下がって木の実を夢中で食べている鳥。頭を地面へむけて木の幹を回りながら降りる鳥にも会えるかもしれません。

じっくり観察していると、どんな鳥がどんなものを食べ、どんな仕草をするのか、そしてどんな所にいるのか・・・たくさんの発見があります。

同じ丹沢でも、場所によってよく見られる種類は様々です。丹沢でのんびりじっくり野鳥観察をしてみませんか！
(柳川)



ゴジュウカラ



シジュウカラ



ウン



マヒワ



エナガ

丹沢湖ビジターセンター

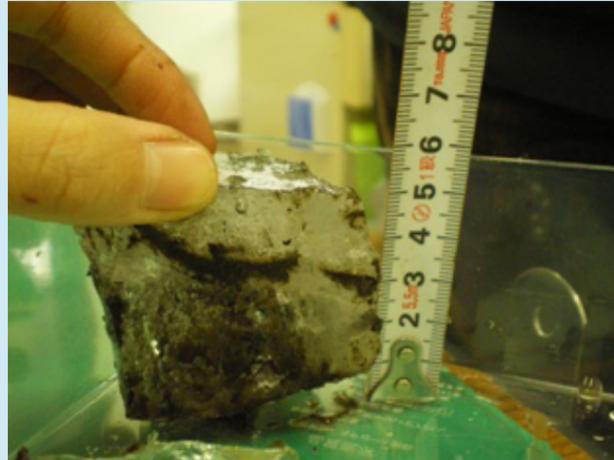
寒中に咲く

丹沢湖ビジターセンター（山北町玄倉）では、1月13日に初積雪がありました。敷地内の池に氷が張る寒さが何日も続いています。ある日、氷の厚さを計ってみると薄い所は1cm、厚い所は5cmにもなっていました。

その同じ日、湖の対岸ではミツマタの花が咲いていました。ミツマタの花は3月頃に見頃を迎えますが、日当たりのよい場所ではもう咲き始めたようです。今丹沢湖では、氷る寒さに身がしまり、日溜まりの花が心を和ませます。
(櫛谷)



ミツマタ



池にはった氷。厚さは、なんと5cm。

箱根ビジターセンター

冬の絶景ポイント

この冬は非常に寒い日が続いており、主に日本海側の地方では豪雪となっていますが、ここ箱根は1月中旬になってようやく降雪をみました。

1月7日、富士山のすぐ南側にある水ヶ塚公園（静岡県裾野市）へ行ってきました。ここから見た富士山の雄大な眺めです。やはり雪は少なめの感がありますが、真冬の富士山は、時に気温がマイナス30℃にもなる、人を寄せつけない厳しい世界です。

小春日和の1月19日、仙石原自然探勝歩道を少し歩いてみました。クロモジなどの樹木はすでに新芽をつけ、春の訪れを待っています。寒そうな姿をしていた金時山も、この日は心なしか暖かそうな姿でした。

同じく1月19日、仙石原の住宅地を歩いていると、なんとルリビタキに出会いました。大急ぎでカメラを向けて撮ったこの写真。強い日差しと、白いフェンスの上に止まっていたせいもありますが、美しい青色がわかるでしょうか…。
(加藤)



上:水ヶ塚公園から望む富士山
中:仙石原自然探勝歩道から望む金時山
下:ルリビタキ

陣馬自然公園センター

足元にも目をむけると・・・

平成22年1月5日。朝霧が立ち込めて視界が悪かった周辺に、うっすらと陽が差し込むと冬枯れの景色が照らし出されました。

今年も登山者は、冬の風物詩「シモバシラ」の氷の花と山頂からの景色を楽しみに出発して行きました。例年に比べると約1ヶ月位遅くなりましたが、その氷の花を年末から見る事ができました。

可憐に白く透き通ったシモバシラの氷の花は一見小さく見えますが、壊れないようにそっと落ち葉をかき分けると、意外と大きかったりします。中には誤って踏まれてしまうものもありますが、それぞれがお気に入りの大きさ



陣馬山山頂からの眺望

や変わった形のものをカメラに収めていました。

冬山は空気が澄み、晴れた日には陣馬山頂からの景色を最高に楽しむことができます。登山道では、落ち葉を踏みしめる音や、木々が葉を落とし見通しのきく林の中から聞こえてくる野鳥の声や姿などを楽しむことができます。

しかしその登山道も、氷点下になり土を押し上げてできる霜柱がでると、厄介なことに、日中氷が解け出して靴やズボンが泥だらけになってしまいます。

低山で手軽に登れる山として紹介されている陣馬山へ、軽装で地図やライトも持たずに登山する方々が、増えています。低山だから安全だという先入観を持たないで、しっかり準備をして情報を集め、時間に余裕をもって登山を楽しんで下さい。
(荒井)



左:シモバシラ(シソ科の植物)の氷の花。茎が吸い上げた水分が凍り、花が咲くように割れ出します。
右:霜柱